

# Cente Technical Information

発行番号	003-0002	Rev	第1版	発行日	2010/05/10
題名	IPCPネゴシエーションでタイムアウトが発生したとき、切断されない現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente PPP Ver.1.00 - Ver.2.12				
関連資料	なし				
<p><b>【該当するユーザ環境】</b> 品質の不安定な回線環境でPPPを使用している場合。</p> <p><b>【障害内容】</b> 無線通信など品質の不安定な回線環境の場合、PPPネゴシエーション中も相手側と通信できず再送タイムアウトが発生することがあります。LCPネゴシエーション、認証フェイズでこれが発生すると回線を切断して発信APIがエラーを返します。しかし、IPCPネゴシエーション実行中に再送タイムアウトが発生した場合、Cente PPP側からは回線切断を実行しておりませんでした。そのため、通信路が復活してIPCPネゴシエーションが完了するか、モデムなど下位モジュールから切断が通知されない限り発信APIから返らないという現象が発生します。 なお、本現象はCente PPP Ver.2.20で修正されています。Ver.2.20の改変履歴に本現象が明記されていなかったため、改めて障害情報として公開します。</p> <p><b>【発生理由】</b> IPCPネゴシエーションの再送タイムアウトが発生したとき、切断を実行していませんでした。</p> <p><b>【回避方法】</b> 以下のいずれかの方法で回避してください。 ・Cente PPP Ver.2.20にバージョンアップする。 ・IPCPネゴシエーションの再送タイムアウトで直ちに切断するようソースコードを修正する。 (改変箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					